



# ! UP ! 第14号 修了式・3月

3月15日、今年度講師を務めていた中学夜間学級の卒業式に参列しました。外国から来日した方が基本的な学習に取り組んだり、さまざまな事情で義務教育を終えていない方が学び直したりするところです。

受付で検温と消毒、来賓の出席なし、国歌と卒業の歌は「心の中で歌う」など、中学校と変わらない様子でしたが、国籍も年齢も、あらゆることに「ちがい」をもつ人達が、母語ではない日本語を「共通語」として、挨拶したり、名残惜しそうにまた楽しそうに会話したりしている姿が印象的でした。

皆さんも、一人一人が「ちがい」をもっているという点では同じかもしれませんが。行事や活動が中止になったり制限されたり、なかなかみんなで「共通」のものごとに取り組むということが難しい一年間でしたが、新しい環境のなかで、友人や仲間との新たな「つながり」が得られたとすれば、この一年間は皆さんにとって大きな意味をもつことではないかと、改めて感じています。

(保護者の皆様へ)

この一年間のご協力に感謝申し上げます。「コロナ禍」のもとでの船出となり、ご心配やご不安も例年に増してのことと拝察いたします。なお、学年保護者会に代えて簡略なご報告を作成いたしましたので、会計報告とともにご一読いただければ幸いです。

(学年主任 宇都宮俊之)



## 総務会企画 ” 学年レク ” が開催されました！

3月11日(木)5限、『え、待って、あと9日しかないやん！じゃあクラスでクイズするしかないじゃん大会』という長いタイトルの、1年生最後の学年レクが開催されました。あらかじめ撮影された映像を見て、各教室で解答するもので、先生方に関わる問題が全12問出題されました。選択枝から正解を選び、1分間のカウントダウンの間に、多数決で答えを絞りました。総務会の人たちの、ユーモラスでアイデアを凝らした演出に、教室は笑い声でいっぱいになりました。脇田先生のメガネはハサミではなくて、吉澤先生の今年の漢字は「咲」。宇都宮先生の朗々たる声による「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり」に聴きほれ、下野先生が竹内昌先生の笑いのセンスを高く評価していることを知りました。高木先生御用達の店がわかり、可児先生直筆の「名古屋市立滝ノ水中学校」はどれかを、T君が大胆に書いた文字などの中から選びました。加藤先生は筋肉に興味があり、白いシャツがすてきな岡本先生は、バスケットボールのシュートを3本打てば、100%成功させることが分かりました。喜田先生は疲れるとフードをかぶり、集中力を8万倍高める作戦に出ますが、そんな喜田先生に内藤先生は「きた、きた〜！」と声を掛けます。清水先生の写真を、ぼやけすぎて目鼻立ち不明の4枚から正しく選び、竹内先生が机上放置の食べかけヨーグルトを、密かに隣の宇都宮先生の机に置くだろうと予想して、的中させました。そしてラスト問題では喜田、高木、宇都宮、脇田先生を年齢順に並べて、戦いは終わりました。次は、見事上位3位に輝いたクラスです。

☆ 1位 1組      2位 3組      3位 7組 ☆





# ♪ 「学年合唱会」がありました ♪

去る22日(月)、TV視聴ではありましたが、「学年合唱会」がありました。生徒は、自分のクラス以外で、賞にふさわしいと思ったクラスに投票しました。先生方の投票と合わせた、以下が審査結果です。

☆ 金賞 4組      銀賞 6組      銅賞 1組      特別賞 2組 ☆

どのクラスも、限られた時間の中で協力して、見事な合唱を完成させることができました。1年間の成長の集大成にふさわしい歌声が体育館中に響きました。

## 4月の行事予定 《おもなものです。詳細は、4月の学年通信でお知らせします。》

日	曜日	行事予定
6	火	始業式 着任式 認証式(生徒会役員) 入学式準備(令和3年度生徒会執行部・旧1年後期、各クラスの総務・生活・美化委員)
7	水	入学式(2年生 家庭学習)
8	木	対面式
9	金	離任式 標準学力調査(5教科で実施、～14日まで。)
12	月	身体測定
13	火	学級写真
14	水	部活動紹介
15	木	普通授業、スクールランチ・ミルク開始



### ○始業式について

- ・学級編成表がピロティ別館前に、8:15に掲示されます。クラスと出席番号を確認して、教室に入り自分の座席に着席してください。
- ・持ち物—上履き、体育館シューズ、筆記用具、「春休みの生活記録」、数学の基礎学再チャレンジ課題(該当者のみ)

### ○新年度に学年通信のタイトルを募集します

今年度のタイトルは、覚えやすく、コロナウイルスの影響で遅れてしまった勉強や自分自身をUPする気持ちを込めたものでした。この一年間、さまざまな場面で生徒たちは自分をUPしようと努めてきました。2年生では、何を目標に掲げますか。生徒のみならず、アイデアを温めておいてください。新年度に次のタイトルを募集します。ご協力をお願いします。